



2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社フジオフードグループ本社
コード番号 2752 URL <https://fujiofood.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 仁田 英策

TEL 06-6360-0306

半期報告書提出予定日 2024年8月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	15,462	4.1	668		650		392	
2023年12月期中間期	14,847	18.1	24		33		192	

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 446百万円 (%) 2023年12月期中間期 199百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	8.65	8.63
2023年12月期中間期	4.30	

(注) 2023年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年12月期中間期	20,004		2,086		10.3
2023年12月期	20,287		1,432		7.0

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 2,067百万円 2023年12月期 1,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		0.00	0.00
2024年12月期		0.00			
2024年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
2024年12月期の配当につきましては、未定とさせていただきます。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,655	3.0	800	105.3	711	140.3	163		3.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期中間期	45,491,921 株	2023年12月期	45,337,860 株
--------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2024年12月期中間期	74 株	2023年12月期	74 株
--------------	------	-----------	------

期中平均株式数(中間期)

2024年12月期中間期	45,411,293 株	2023年12月期中間期	44,683,357 株
--------------	--------------	--------------	--------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(中間連結貸借対照表に関する注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、為替市場の円安進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料や資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、人流の回復やインバウンド消費の拡大等により堅調な需要が続いているものの、食材価格やエネルギーコストの上昇、慢性的な人手不足等によって、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」を中心とした全業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、売上高154億62百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益6億68百万円（前年同期は営業利益24百万円）、経常利益6億50百万円（前年同期は経常損失33百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益3億92百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1億92百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「麵乃庄 つるまる」、「さち福や」、「天麩羅 えびのや」等の事業展開を行っております。

当事業では、時間帯別売上分析による適切なシフトコントロールによってコスト削減を行うとともに、販売実績のABC分析から顧客ニーズを図りターゲットを狙った商品開発を行いました。また、季節フェアキャンペーンの推進、SNSやメディアを活用したブランド認知度の向上、既存店舗の美装改装等による集客力向上施策を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は146億77百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は15億84百万円（前年同期比72.3%増）となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、加盟企業及び社員独立による営業委託者とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらなる集客・売上の向上を目指しております。

主な活動といたしましては、フランチャイズ加盟開発の強化、現環境に適した業態への変更の提案等を行ってまいりました。また、更なる事業規模拡大に向け、直営店の売却・営業委託を積極的に進め、ストック型のビジネスモデルへの転換に努めてまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は7億84百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は5億36百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

当社グループの2024年6月末時点の店舗数は713店舗（直営店（国内）402店舗、直営店（海外）5店舗、委託店（国内）73店舗、FC店（国内）213店舗、FC店（海外）20店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	委託店 (国内)	FC店 (国内)	FC店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	84	2	24	164	7	281
神楽食堂 串家物語	69	-	5	25	4	103
麵乃庄 つるまる	25	-	14	7	6	52
さち福や	35	-	3	6	2	46
天麩羅 えびのや	32	3	2	3	1	41
その他	157	-	25	8	-	190
合計	402	5	73	213	20	713

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当中間連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は2億82百万円減少し、200億4百万円となりました。

資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末から1億88百万円減少し、固定資産が94百万円減少しております。流動資産が減少した主な理由は、預け金の減少1億76百万円によるものであります。固定資産が減少した主な理由は、有形固定資産の減少52百万円、のれんの減少48百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して9億37百万円減少し、179億17百万円となりました。これは主に借入の返済による減少8億7百万円、未払消費税等の減少1億50百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する中間純利益の計上、新株予約権の行使による資本金及び資本準備金の増加等により、前連結会計年度末と比較して6億54百万円増加し、20億86百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが8億78百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが3億58百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが6億34百万円の支出となり、この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して1億1百万円減少し、59億93百万円(前年同期は62億57百万円)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは8億78百万円の収入(前年同期は7億86百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益5億4百万円になったことに対して、非現金支出である減価償却費が2億70百万円、のれん償却額が48百万円、減損損失1億68百万円が発生し、法人税等の支払額68百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは3億58百万円の支出(前年同期は4億54百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2億98百万円、固定資産の除却による支出が1億18百万円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは6億34百万円の支出(前年同期は3億27百万円の収入)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が8億7百万円発生したことに対し、株式の発行による収入1億87百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,380	6,290
売掛金	567	577
棚卸資産	168	130
前払費用	261	281
未収入金	176	237
預け金	1,287	1,111
その他	261	286
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,101	8,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,056	16,168
減価償却累計額	△8,737	△8,862
減損損失累計額	△3,465	△3,566
建物及び構築物(純額)	3,853	3,738
工具、器具及び備品	5,311	5,290
減価償却累計額	△4,689	△4,667
減損損失累計額	△485	△477
工具、器具及び備品(純額)	135	145
土地	740	740
その他	402	455
減価償却累計額	△378	△378
その他(純額)	24	76
有形固定資産合計	4,754	4,702
無形固定資産		
のれん	1,367	1,318
その他	35	30
無形固定資産合計	1,402	1,348
投資その他の資産		
投資有価証券	402	353
関係会社株式	122	129
繰延税金資産	16	16
敷金及び保証金	3,532	3,522
その他	1,171	1,183
貸倒引当金	△215	△165
投資その他の資産合計	5,028	5,040
固定資産合計	11,185	11,091
資産合計	20,287	20,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,422	1,367
短期借入金	3,500	3,500
1年内返済予定の長期借入金	1,452	1,131
未払金	1,387	1,311
未払費用	541	578
未払法人税等	112	134
未払消費税等	381	230
賞与引当金	-	7
株主優待引当金	299	323
資産除去債務	40	24
その他	367	404
流動負債合計	9,503	9,012
固定負債		
長期借入金	7,324	6,838
リース債務	19	56
資産除去債務	1,095	1,080
預り保証金	236	232
繰延税金負債	133	150
持分法適用に伴う負債	500	500
債務保証損失引当金	19	27
その他	22	17
固定負債合計	9,351	8,904
負債合計	18,855	17,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,627	2,731
資本剰余金	3,332	3,436
利益剰余金	△4,610	△4,217
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,348	1,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	34
為替換算調整勘定	60	82
その他の包括利益累計額合計	63	117
新株予約権	15	14
非支配株主持分	4	5
純資産合計	1,432	2,086
負債純資産合計	20,287	20,004

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	14,847	15,462
売上原価	5,237	5,369
売上総利益	9,609	10,092
販売費及び一般管理費	9,585	9,423
営業利益	24	668
営業外収益		
受取利息	1	2
賃貸収入	1	3
受取配当金	2	3
持分法による投資利益	21	4
雇用調整助成金	0	-
その他	28	38
営業外収益合計	57	51
営業外費用		
支払利息	43	49
支払手数料	56	1
賃貸収入原価	0	0
その他	14	18
営業外費用合計	115	69
経常利益又は経常損失(△)	△33	650
特別利益		
固定資産売却益	8	4
受取立退料	36	39
固定資産受贈益	24	-
持分変動利益	53	-
関係会社株式売却益	58	-
債務保証損失引当金戻入額	19	-
その他	-	3
特別利益合計	202	46
特別損失		
店舗解約損	112	23
固定資産除却損	6	0
減損損失	133	168
貸倒引当金繰入額	33	-
特別損失合計	286	192
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△117	504
法人税等	74	111
中間純利益又は中間純損失(△)	△192	393
非支配株主に帰属する中間純利益	-	0
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△192	392

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△192	393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	30
為替換算調整勘定	9	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	2
その他の包括利益合計	△7	53
中間包括利益	△199	446
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△199	446
非支配株主に係る中間包括利益	-	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△117	504
減価償却費	364	270
のれん償却額	48	48
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31	△19
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	7
株主優待引当金の増減額(△は減少)	36	23
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	43	49
支払手数料	56	1
株式報酬費用	-	3
為替差損益(△は益)	△5	△7
店舗解約損	112	23
固定資産売却損益(△は益)	△8	△4
固定資産除却損	6	0
減損損失	133	168
関係会社株式売却損益(△は益)	△58	-
持分変動損益(△は益)	△53	-
雇用調整助成金	△0	-
持分法による投資損益(△は益)	△21	△4
売上債権の増減額(△は増加)	10	△9
棚卸資産の増減額(△は増加)	50	38
仕入債務の増減額(△は減少)	△75	△56
預け金の増減額(△は増加)	409	176
未収入金の増減額(△は増加)	1	△69
未払金の増減額(△は減少)	△78	△84
長期未払金の増減額(△は減少)	△100	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	△71	△150
その他	△67	85
小計	643	990
利息及び配当金の受取額	4	5
助成金の受取額	0	-
利息の支払額	△43	△49
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	181	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	786	878

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△200	△298
有形固定資産の売却による収入	11	7
固定資産の除却による支出	△194	△118
関係会社株式の売却による収入	58	-
定期預金の預入による支出	△180	△168
定期預金の払戻による収入	60	167
貸付金の回収による収入	10	2
敷金及び保証金の差入による支出	△34	△7
敷金及び保証金の回収による収入	100	137
その他	△85	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△454	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,120	△807
株式の発行による収入	663	187
自己株式の処分による収入	792	-
配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△6	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	327	△634
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	669	△101
現金及び現金同等物の期首残高	5,587	6,094
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,257	5,993

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間において、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ9百万円増加しております。また、第14回新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ94百万円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が2,731百万円、資本剰余金が3,436百万円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
商品	51百万円	23百万円
原材料及び貯蔵品	116	106
計	168	130

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
給料手当	3,595百万円	3,614百万円
地代家賃	2,218	2,189
賞与引当金繰入額	-	7
株主優待引当金繰入額	180	180

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	6,558百万円	6,290百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△301	△297
現金及び現金同等物	6,257	5,993

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	2,492	—	2,492	—	2,492
神楽食堂 串家物語	3,915	—	3,915	—	3,915
麵乃庄 つるまる	501	—	501	—	501
さち福や	1,412	—	1,412	—	1,412
天麩羅 えびのや	988	—	988	—	988
その他	4,801	—	4,801	—	4,801
F C加盟金売上	—	80	80	—	80
F Cロイヤリティ売上	—	305	305	—	305
F Cイニシャル売上	—	38	38	—	38
F Cランニング売上	—	309	309	—	309
顧客との契約から生じる収益	14,112	734	14,847	—	14,847
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,112	734	14,847	—	14,847
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	14,112	734	14,847	—	14,847
セグメント利益	919	475	1,395	△1,370	24

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,370百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては133百万円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	2,509	—	2,509	—	2,509
神楽食堂 串家物語	3,751	—	3,751	—	3,751
麵乃庄 つるまる	563	—	563	—	563
さち福や	1,574	—	1,574	—	1,574
天麩羅 えびのや	1,050	—	1,050	—	1,050
その他	5,227	—	5,227	—	5,227
FC加盟金売上	—	78	78	—	78
FCロイヤリティ売上	—	352	352	—	352
FCイニシャル売上	—	37	37	—	37
FCランニング売上	—	316	316	—	316
顧客との契約から生じる収益	14,677	784	15,462	—	15,462
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,677	784	15,462	—	15,462
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	14,677	784	15,462	—	15,462
セグメント利益	1,584	536	2,120	△1,452	668

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,452百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間に閉店の意思決定がされた店舗及び営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては168百万円であります。